

経 済 建 設 常 任 委 員 会 要 点 記 録

日 時	令和6年9月4日	開 会	9時00分	会議時間
		閉 会	11時49分	2：43
場 所	第1委員会室			
出 席 者	武藤委員長、松島副委員長、川原委員、川股委員、早坂委員、吉永委員、柏野委員 傍聴議員： 小林議員			
説 明 者	副市長、経済部長、経済部次長2名 外3名		傍聴者数	2人
事 務 局	議会事務局長、同次長、同主査		記 者	1人

会 議 の 経 過 事 項

廣瀬花と緑・観光課長	委員長が開会を告げ、傍聴の許可をし、議事日程について説明する。			
	●日程1．現地調査 1) 作況調査について 日程1．現地調査 終了 9時50分 休憩 9時56分 再開			
柏 野 委 員	●日程2．閉会中の所管事務調査事項について 2) 作況調査について 【質疑】 なし 1) 観光振興について 資料説明 ①恵庭市ルルマップ自然公園ふれらんどについて 資料説明 ②恵庭花とくらし展について 【質疑】 ① ルルマップのサウンディング調査ですが、明日、明後日実施され、内容はこれからということですが、参加の申込件数は今の時点で何件になっているのかお聞きします。 ② スケジュールですが、概要については10月の委員会で御報告をいただけるということによろしいか確認します。 ③ これに関連して、ギャラリーが、かつてあった場所を退去した後、空いてる状態だったと思いますが、現状どういう運営がされているのか確認します。 ④ 今年度も9月に入ったということで、前半のルルマップふれらんどのパークゴルフ場を含めた利用の状況、実績をお聞きします。 ⑤ 花とくらし展について、より多くの人と人が繋がり、花の文化を広げることが開催の目的ということです。去年は、9日間の開催で、週末も2回あり、来場者数は7万人を超えていましたが、今年は2万6,000人という			

廣瀬花と緑・観光課長	ことで、来場者数についてはどのように評価をしているのかお聞きします。 ⑥ 目的が、繋がるということや広げるということで考えたとき、この開催内容の中では、例えばワークショップや、ツアーにどのぐらいの方が参加をしたのかは非常に重要な指標になると思いますが、ワークショップの参加者数はどうなっているのかお聞きします。 ⑦ はなふるガイドツアーとまちなかガイドを実施したということです。オープンガーデンはバスツアーの参加者数記載がありますが、ガイドツアーとまちなかガイドはどのぐらいの方が参加をされたのかお聞きします。 ⑧ みんなの花壇についても事前に植栽を行い、そこには文教大学やボランティアの方が参加をいただいたということで、その参加者数を聞きます。 ① 今日までの申込みとなっており、現在1団体より申込みが来ています。 ② サウンディングを行いますので、10月の常任委員会で報告したいと思っています。 ③ 現在地元のグループにより、軟石倉庫をギャラリーとしての貸館ということで運用を図っていただいているところです。実績としては、本年度に入り、1件、美術の展示ということをお受けしています。その他については休憩スペースとして利用しているということで事業の計画が上がってきています。 ④ 令和5年度の実績は持ってきていますが、令和6年度は数値を持ち合わせていないことを御了承願います。その上で4月、5月は数値的なものはお示しできませんが、若干増えているところであり、6月、7月で若干減ってしまっていて、8月に増えているところで、なかなか波がある入場者数になっています。 ⑤ 昨年度9日間実施したことにより多くの方に来ていただき、花のまちづくりを広げたと考えているところですが、やはり平日になりますと、来場者がどうしても減ってしまいますので、土日のイベントが多く集客があると実際に実施してみて感じているところです。 ⑥ 人数を押さえておりません。 ⑦ オープンガーデンツアーは72名です。はなふるのガイドツアーは、2日間で10組16名、恵み野まちなかガイドは、2日間で45名の参加をいただいています。 ⑧ 人数は把握していませんが、三、四十人の方に来ていただき、学生に事前に植えていただき、その後花とくらし展において、来場者に植えていただいています。
柏 野 委 員	⑨ ①サウンディングは申込みが1件ということです。今後具体的に進めていくにあたって、そのぐらいの希望しかないというのは非常に不安に思いますが、今後もっと民の力を使って事業を進めていこうということが、1件しか現時点で応募がないことを考えると、難しい可能性があると思いますが、あまり事業者が前向きではないとなったときには、どのような事業手法を考えて実施をしようとしているのか、お考えをお聞きします。 2点目と3点目についてはわかりました。 ⑩ ④令和5年度の実績についてはこれから決算も控えていますので、そちらで改めてお聞きしたいのですが、令和6年度について若干波がある状況というこ

とでした。ただ、むしろ令和6年度の状況が今非常に重要かと思っていますが、こういった要因で増減していると評価されているのかお聞きしたいのですが、特にパークゴルフ場は、民間施設が閉鎖されたことを考えると、通常であれば、来場者数が増えるかと思いますが、パークゴルフ場がそこまで伸びていない要因をお聞きしたいのと、併せて来場者数でいうと、フォレストアドベンチャーが、近年伸びてきているというお話があったと思いますが、フォレストアドベンチャーの状況がどうなっているのかと、そして、新たに自転車の施設も設けられていると思いますが、そういった新規の施設がどのような運営状況になっているのかお聞きします。

- ⑪ ⑤⑥⑦花とくらし展ですが、今年は平日やっていないということで、2日間で2万6000人という数です。昨年の状況をお聞きしたときには、週末だと1万2000人から1万5000人ほどということで、週末だけを比較すると、去年よりも少ないのかなと見ています。ただ多くの方が札幌から来ているということ考えたとき、数だけを追いかけるものではないと思っており、だからこそ市内の方がガーデニングに取り組む、ワークショップに参加するということが非常に重要な取組だと思っています。ワークショップのところ、ですから非常に重要な指標だと思っており、ぜひ今後は追いかけていただきたいと思いますが、そうした中で、ガイドのツアー、例えばはなふるガイドツアーでいうと、10組で16名しか御参加がないということです。こういった部分が本来であれば市外の方に対してもそうでしょうし、市内の方にも参加いただいて、日常的にはなふるの魅力を、市外に対しても発信していただけるような機会としては非常に重要と思いますが、やはりこのあたりをもっと増やしていく取組が必要と思っていますが、その点についてのお考えをお聞きします。

恵み野まちなかガイドはどちらかというと外向けの事になると思いますが、こちらにも外に向けて発信をするという意味では取組、今後も努めていただきたいと思っています。これについては特に答弁は結構です。

- ⑫ 花壇の事前植栽ですが、ボランティアの方もそうですし、文教大学の学生ということで、今恵庭と関わりを持っていただいた方たちに花との関わりを持っていただく機会は非常に重要と思っています。だからこそ、人数もそうですし、この方たちがどう積極的に今後も関与していただけるかということは重要になると思いますので、現状このワークショップからこういった事前植栽という部分での指標としてはあまり押さえていないようなので、こういった部分もしっかりと取り組んでいただけるように期待をしたいと思っています。

廣瀬花と緑・観光課長

- ⑨ サウンディングが1者しかいないというお話ですが、まずは結果を聞きたいと考えています。その上で新たに前回、第1回サウンディングを実施した5団体の再ヒアリングも実施した上で、可能性についてヒアリングを進めていきたいと思っています。その上で次回の常任委員会に報告をしたいと思っています。

- ⑩ 令和6年度のパークゴルフの利用者増減ですが、ずっと増加するということであれば、民間パークゴルフ場が閉鎖したことが要因と思いますが、減少していますので、なかなか分析ができていません。ただし、フォレストアドベンチャーは、若干コロナ明けにより、市外の利用が多いが、横ばいもしくは若干増

柏 野 委 員	えているということと、自転車の利用も始めてはいますが、なかなか自転車の利用が増えていないということもあり、無料で小学生に教えて普及するという事業も行っていると聞いています。それも含めて、もっとフォレストアドベンチャーや自転車に乗る機会の創出をしていきたいと考えているところです。 ⑪ はなふる利用者数、若干少ないということもありましたが、これについては要因をなかなか限定することは難しいですが、天候についても、晴れていますし、いろいろなイベントを行い各推進会議の部会により、いろんなイベントで集客を図っているところです。少なくなった要因については改めて部会に報告をした上で、次年度に向けた方策等を立てていきたいと考えています。 ワークショップは、重要な要因ということですので、改めて確認もしくは来年度以降はきちんと数えることが必要だと考えています。あと市民向けということもありますので、ガーデナーのガーデン講習会などの座学も行っています。さらにはプリザーブドフラワーですとか、花に親しんでいただくことも行っていますので、もっと多く来ていただけるように今後はしていきたいと考えています。ガイドについては、ボランティアでやっていただいている状況で、ガイドの育成についても現在問題となっています。なかなかガイドのなり手がいないですとか、高齢化等もあり、なるべく多く開催したいと考えているところですが、そういう要因があってもなかなか多くできない状況ではありますが、これについても花のまちづくり推進会議と協議をしていきたいと考えています。 ⑫ 花壇についても、やはり若い人の参加が次世代に花のまちづくりを繋げるための方策として有効だと考えていますので、今後とも学生や若い方に来ていただけるような花とくらし展にしていきたいと考えています。 花とくらし展については分かりました。推進会議でもぜひ協議を進めていただければと思います。 ⑬ ⑨今御答弁では再ヒアリングを、1回目のときのサウンディングの事業者5者に実施をして、10月に報告いただけるということでした。その再ヒアリングもこれから10月までの間に行って、その結果を含めてご報告いただけるということでよろしいか確認します。 ⑭ ⑩フォレストアドベンチャーが若干増えているけれども、パークゴルフは要因について詳細には分析できていないということでした。これについては健康スポーツ課とも関わりあると思いますが、今後のパークゴルフのスポーツ環境の整備を考えていく上では重要になると思いますので、連携してその状況把握には努めていただきたいと思います。 ⑮ ⑩自転車の利用が増えていないということでした。新しい取組ですので、まずは周知が進んでいくことによって、利用は増えていくと思いますが、せっかく今自転車のイベントも9月に予定をされている中で、連動だとかそういったところがなかなか様子としては見えてきていないと思います。チェックポイントとしては例年どおり寄っていただく形にはなっていると思いますが、そういった広域的な自転車のイベントもあるようですから、自転車を利用する方にこういった施設を知っていただくことも非常に重要な取組になると思いますので、そういった自転車イベントとの連動も図りながら、更なる利用促進に努め
----------------	---

廣瀬花と緑・観光課長	ていただきたいと思います。お考えを伺って終わりたいと思います。 ⑬ サウンディングはこれからのヒアリングということ、さらに再ヒアリングについても、10月の委員会で報告をさせていただきたいと考えています。 ⑭ パークゴルフ場も、スポーツ課、主要パートを含めたスポーツ施設についても、数値等把握していないのもありますので、それらも含めて分析等をしていきたいと考えています。 ⑮ 自転車の普及や集客について、自転車イベントを多くやっていることもあり、さらにはフォレストアドベンチャーによるSNSの報告も含めて、どんなことができるのかも事業者と相談しながら、普及、さらには人が来ていただける施設となるよう協議してまいりたいと考えている次第です。
川 原 委 員	① ルルマップ自然公園について、大体今の質疑で分かりましたが、サウンディングに向けて第4墓園の扱いについて、何年か前の質問のとき、第4墓園の墓じまいと、利用が少なく、将来を見通したときに考えなくてはいけないという話が出ていた気がします。そこで今度サウンディングで、ルルマップと第4墓園の位置はすぐ隣ですよ。まだ実際整備されていませんが、広域の土地に繋がると予測しますが、第4墓園での位置づけの計画があるので、サウンディングの中に、第4墓園の半分ぐらいを含めたらどうでしょうか、どう考えていますかとお聞きになると思いますが、もう少し広くスペースを取ったときにはどうかと、もっと広いほうがいろいろなアイデアが出ますかというような聞き方でサウンディングされるのも一つの案ではないかと思います。せっかくのサウンディングですので、そういう聞き方も一つあると思いますが、どのようにお考えかお聞きします。 ② 花くらですが、はなふるガイドツアーは私も大変重要だと思います。はなふるをつくるときのコンセプトは、キッチンカーとか物を売るとかではなく、いろいろなガーデンをつくって、花を綺麗に育てて、例えばパンケーキを焼く丘とか、突拍子もないようなアイデアですが、それはコンセプトに基づいて位置づけされている、非常に奥深いのはなふるではないかと思います。これを広げて市民や来場者にその位置づけを高めていくには、やはりこのガイドツアーがマンツーマンでもいいし、10組の66名ということでしたが、私も見ていたら、何人かに教えて、アドバイスをされていच्छやいました。まだまだ人員的に足りないと思います。やはり花くらのときだけでも、ボランティアを誘って、1人でも2人でも気楽に声をかけてアドバイスしていただければ、はなふるのコンセプトを、来場者に知っていただけたと思います。そのことにもう少し力を入れてやるべきだと思いますが、お考えをお聞かせ願います。 ③ 道の駅です。はなふるも花くらもYEGもそうですが、イベントを、あそこでたくさんお客さんを集めてやります。ところが、道の駅は5時には閉店になっています。今日の報告事項とは少し違うかもしれませんが、道の駅のレジの形だとかは、非常に使い勝手が悪いと思って見てきました。お客様がたくさんいて、道の駅を利用しようといったときに5時にはもう、閉鎖しているというのはどうなのでしょう。人件費や経営の問題はあると思います。契約状況が

廣瀬花と緑・観光課長	どうなっているのか分かりませんが、せっかく来ていただいた方への利便性が欠いている気がします、その件についてお聞かせください。 ① ルルマップ自然公園ふれらんのサウンディングの内容は、常任委員会資料では、表1枚の資料となっていますが、実際にホームページで公表しているサウンディングについてですが、実は第4墓園についても、墓園の数が少なくなったと生活環境部からお聞きした上で、土地利用についてもお聞きする方向で今執り進めているところです。約4ヘクタールある空き地の利用についても、墓園とは隣接はしていますが、どのような使い方があるかということも、サウンディングの中でお聞きしたいと考えています。 ② 花くらのツアーについて、やはり七つのガーデン、著名なテーマガーデンがありますので、こちらを広げていきたいという思いがあります。先ほどもお話しさせていただきましたが、ガイドの担い手が少ないということもあり、何とか広げていくよう花の団体と協議を進めていきたいと考えているところです。 ③ 道の駅の閉店時間について、冬夏によって決められて、事業者で実際に何時までと決めています、これが協定にあるかないかは確認したいと思います。ただイベント開催時において、延長するという点については協議となりますので、持ち帰りまして、事業者とまずは協議していきたいと考えています。
川原委員	ふれらんの件について、第4墓園のことについては理解しました。ぜひいろんな場面を考えて、ぜひ最高のものになるようにサウンディングを把握していただきたいと思います。 花くらの件で、ガイドの担い手がいないということですが、私は直接そこに関わっているわけではないので現実には分かりませんが、結構いらっしゃるのかと思っています。やはりそれなりのパフォーマンスをされて、大切にしていれば担っていただける方はもっといらっしゃると思いますので、来年に向けて、担当の方なども含めて広げていただくよう、少なくともやはり16名ぐらいは2日間は待機していただき、1名の方、もしくは会場をユニフォームを着て、歩いていただくことによって、すぐ声をかけていただけて、対応できるようにしていただいたら、はなふるの創生のコンセプトがだんだん深まっていくと思っています。はなふるは趣深い価値のあるガーデニングができていますので、ぜひとも広めていっていただきたいと思います。 道の駅の検討については調べてみるということですが、基本的には指定管理ではありますが、恵庭市の施設ですので、イベントをやっている日に5時に閉まるのは、サービスが非常に欠けていると思いますので、ぜひそれは協議していただき、折り合うところで、5時は早すぎると私は思っています。やはり来場された方にとって大変不便が生じると思いますので、問題意識を持ってぜひ協議を、来年のはなふると花くらのときには改善されるよう期待するところです。よろしくお願いします。 答弁は要りません。
松島委員	花とくらし展について、今各種イベントが、土日に行われている中で、私も会場に行くことがありますが、駐車場ですけれども、道の駅も私が行ったとき

廣瀬花と緑・観光課長	は満車で、センターハウス側も満車で、探してる間にどんどん入ってくる車もいて、案内がなく、せっかくそこに参加したいと思っていらっしゃる方が、駐車場がなく帰ってしまうのではというぐらいの満車ぶりだったのですが、スムーズに中島公園側に御案内するなど、来場者の方がわかるような、せっかく来て停めるところがなく帰ってしまうのは大変残念と思います。今後どういった対応ができるのかお聞きします。
松 島 委 員	イベントを行ったとき、まずは一番近い道の駅に停める実態があります。これについては花とくらし展でもそうですが、警備員を動員してはなふるの駐車場に誘導しています。それでもはなふるも満車になりますので、中島公園に行っていていただくよう誘導はしていますが、それでも混雑するということも道の駅ではずっと起きているものですから、今後は警備員の対応も間違いなく行いますが、看板などでも周知を行うような形で、千歳側から来ましたら、中島公園に入っていていただけるようなことも推進会議とお話をさせていただき、ただ以前から比べますと、中島公園が臨時駐車場として使われていることの周知は上がってきていると思いますので、看板と対応をしていければと考えています。 警備で対応しているということですが、私が行ったときは、警備の方も見当たらず、きっとその間にもどんどん車が入ってきて、皆さん迷子のようにさまよっている状況でしたので、やはり看板などがあると、より分かりやすく誘導できるかと思いましたので、ぜひまた様々な対応よろしく願いいたします。
上山商工労働課長	日程 2. 閉会中の所管事務調査事項について 終了
柏 野 委 員	●日程 3. 報告案件について 資料説明 ①えにわん産業祭 2024 UNITE の開催について 資料説明 ②恵庭市農商工等連携推進ネットワークの取組について 【質疑】
	① 資料①、これについては昨年もお聞きをしているところで、まず、産業祭として考えたときに、事業者さんの参加は非常に重要だと思いますが、参加事業所数の推移がどうなっているのかをお聞きします。 ② 改めて産業イベントですよ。地域産業の活性化に繋げることを目的としているということですが、そういうことを考えると参加来場者数がただ増えればいいということだけではないと思いますが、どういった成果指標の設定をされているのかをお聞きします。 ③ 参考としてアンケートで示していただいているのは、本イベントに望むことは何かということで、確か去年の委員会資料を見せていただくと、全部その項目は載っているのですが、その項目を見てみても、やはり産業イベントとしてどうあるべきかという視点は少し足りないと思っており、そういったことを考えた自由記述、産業祭としての趣旨を伝えた上で、それに向けて事業者さんたちがどういうことができるのかというようなサウンディング的な、自由記述があるといいと思いますが、アンケートの記載内容見直しが必要ではないかと思いますが、その点についての考えを伺います。

	④ 農商工連携ネットワークは、そういった形で昨年の意見を踏まえて見直しをしていただいたということで期待したいと思いますが、詳細は確かに書かれているとおりですが、どこがこれまでと違っているのかお聞きします。 ⑤ 今回道の駅でも試験的に販売をするというところの協議を整えていただいたということで、やはり道の駅、非常に集客力のある施設なので期待をしたいと思いますが、これまでも駅まちプラザでは販売をしていただいたと思いますが、駅まちプラザでの販売実績や、これまでに開発をした商品のその後の状況などについてお聞きします。
上山商工労働課長	① 産業祭の出店ブース、昨年度との比較になりますが、去年は飲食10、企業等のブース4、ワークショップ9、野菜直売1、働く車3、藤枝関係1、藤の恵1、パン・スイーツ6の35でありました。今年度の出店予定は、飲食店エリア14、企業等のブース8、ワークショップ体験6、野菜直売1、働く車4、藤枝関係3、藤の恵1、パン・スイーツ5、合わせて42となります。 ② 地域産業の活用という視点でいえば、例えば市内立地企業の製品であったり、市で飲食業の商品を広く市内外に周知することが求められていると考えておりますし、ものづくり企業の紹介という視点でいえば、ワークショップ、働く車の展示で産業に興味を持っていただくというところからこのイベント自体が組み立てられているという認識ですので、来場者数はもちろん全てではないというのは委員おっしゃるとおりだと思いますけれども、こういったところであったりとか、実際ワークショップに参加した人数などは、去年は統計は取っておりませんが、今年可能であればやってみたいとは思っていますので、そういった部分が成果指標になると考えています。 ③ 自由記載というお話ですが、アンケートをどのようにするかはこれからになりますので、お話については参考にさせていただければと思います。 ④ 何が違うのかという部分ですが、これはもちろん批判ということではないのですけれども、どうしても商品、作る側の視点がこれまでは強かったかなという部分だったのですけれども、売り手側の視点が入ってくるという部分が、今までと違うという認識です。 ⑤ 売った物のその後の状況については、なかなか集計が難しく、集計ができていないというのが現状です。
柏 野 委 員	⑥ ①②③去年が36、今年が41ということですが、委員会での答弁、35とのことだったので、細かくは分かりませんが、今内訳をお聞きすると、飲食店が増えているということと、企業が増えていると、一方でワークショップが減っているということだと思います。飲食店が増えるというのは必ずしも悪いことではなく、賑やかさが増えることにより市民の来場が増えるという期待ができると思いますが、やはり中心となるのは市内で営んでいる企業の商品ですとか、企業自体が知られていくことが非常に重要だと思いますので、この取組の成果が認められることにより、商工業者の繋がりの中で、出してみて良かったという声が広がると、出店も増えていくと思いますので、そういった運営に努めていただければと思います。そういったことを考えたとき、やはりアンケートとしては昨年のものも見せていただいた中で、自由記述もそうですし、やはり来

上山商工労働課長	場者にとって、産業祭に行ったことにより、初めて知った企業があるということや、その企業は知っていたけれど、この企業はこんな商品を取り扱っていたということが知っていただけたといいと思っており、そういった要素も、アンケートの中でお聞きをしていくことによって、産業祭としてのコアの部分に、より注力をしていくような取組になると思いますので、ぜひそういった内容を盛り込んでいただきたいと思います。お考えをお聞きします。 ⑦ ⑤農商工連携ネットワークについては、そういった取組ということでぜひ期待をしていきたいと思いますが、道の駅の販売力もそうでしょうし、なかなか今のところ駅まちプラザ、ちょっと難しい状況もあるのかもしれないのですが、とはいえ恵庭の産品が買える重要な２大拠点だと思いますので、そのフォローアップも含めて新しい商品が常に道の駅や駅まちプラザ、恵庭駅に行けば買えるという状況ができるように、様々な形で支えていっていただきたいと期待をしています。そこに向けての取組に対するお考えをお聞きします。 ⑥ 産業祭のアンケートの考えですけれども、初めて知った企業団体はどのぐらいありますかというようにアンケートのチラシに載せ、来場者からいただくことも考えておりますので、今いただいたお話も参考に次年度以降も、より良い産業祭のあり方について考えていきたいと思います。 ⑦ 農商工ネットワークも同様で、今回新たに取組を始めましたが、やはり市内事業者が市内の産品を使って、もしくは藤枝の産品を使っていろいろなものを販売していくという取組、市として具体的にどのような支援ができるのか、常日頃から考えていきたいと思いますが、これまで以上に、どんなことができるかは、考えながら進めてまいりたいというところです。 日程３．報告案件について 終了 (理事者および執行部退席) 【委員間協議】 ●日程４．その他 なし 委員長が閉会を告げる。 (1 1 : 4 9 終了)
-----------------	--